



## 2026年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年2月6日

上場会社名 株式会社AOKIホールディングス 上場取引所 東  
 コード番号 8214 URL <https://www.aoki-hd.co.jp/>  
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 田村 春生  
 問合せ先責任者(役職名) IR室長 (氏名) 江口 聰 (TEL) 045-941-1388  
 配当支払開始予定日 —  
 決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2026年3月期第3四半期の連結業績 (2025年4月1日～2025年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
2026年3月期第3四半期	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第3四半期	131,343	1.5	7,105	△5.4	6,760	△2.2	3,749	△18.4

(注) 包括利益 2026年3月期第3四半期 3,457百万円(△13.2%) 2025年3月期第3四半期 3,983百万円( 9.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
2026年3月期第3四半期	円 銭 44.57	円 銭 —
2025年3月期第3四半期	54.65	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
2026年3月期第3四半期	百万円 214,448	百万円 138,973	% 64.7
2025年3月期	232,976	142,140	60.9

(参考) 自己資本 2026年3月期第3四半期 138,662百万円 2025年3月期 141,842百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2025年3月期	円 銭 —	円 銭 15.00	円 銭 —	円 銭 60.00	円 銭 75.00
2026年3月期	—	20.00	—		
2026年3月期(予想)				60.00	80.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2026年3月期の連結業績予想 (2025年4月1日～2026年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
通期	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

2026年3月期3Q	86,649,504株	2025年3月期	86,649,504株
2026年3月期3Q	2,491,251株	2025年3月期	2,551,777株
2026年3月期3Q	84,128,926株	2025年3月期3Q	84,060,121株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件等については、添付資料3ページ「（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料について)

・決算補足説明資料については、2026年2月6日（金）にTDnetに開示するとともに当社ホームページに掲載しております。

○添付資料の目次

	頁
1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況 .....	2
(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書 .....	6
四半期連結包括利益計算書 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(セグメント情報等の注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記) .....	9

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用や所得環境の改善を背景に緩やかな回復基調が継続いたしました。しかしながら、不安定な海外情勢や米国の通商政策の影響、継続する物価上昇による消費者の節約志向や生活防衛意識が依然として強く、先行きは不透明な状況が続いております。

このような環境のなかで、当社グループは下記のような諸施策を実施した結果、売上高は1,313億43百万円（前年同期比1.5%増）、営業利益は71億5百万円（前年同期比5.4%減）、経常利益は67億60百万円（前年同期比2.2%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は37億49百万円（前年同期比18.4%減）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりです。

#### (ファッショング事業)

ファッショング事業のAOKIでは、多様化する働き方やライフスタイルの変化に対応すべく働く服を表現した「SUITing.（ステイング）」をテーマに、「着回しクロススーツ」をはじめとする顧客ニーズに合わせた商品戦略を推進するなど、ビジネス及びカジュアル商品の拡充に注力いたしました。また、高機能レディースウェア・ブランド「Me WORK（ミワク）」では、シルエットの美しさや着心地の良さを追求し、オン・オフのいずれのシーンでも着用可能なさまざまなアイテムの開発・提案を強化いたしました。ORIHICAでは、メンズ特化型の小規模店舗や熊本県への初出店など新規出店を計画的に推し進め、マーケットシェア拡大とブランドの認知度向上を図りました。店舗面では、ORIHICAで19店舗を新規出店した一方、営業効率改善のためAOKIで3店舗及びORIHICAで6店舗を閉鎖した結果、当第3四半期末の店舗数は613店舗（前期末603店舗）となりました。

これらの諸施策の実施等によりカジュアル衣料の売上が伸長し既存店が堅調に推移した一方、新規出店コスト等が増加した結果、売上高は628億15百万円（前年同期比1.4%増）、営業損失は1億65百万円（前年同期は営業利益9億83百万円）となりました。

#### (エンターテイメント事業)

複合カフェの快活CLUBでは、引き続き鍵付完全個室店舗の拡大を推し進めるとともに、冬の定番「焼きカレー」や「快活特製スパ」等飲食の強化及び学割キャンペーン等の実施により客単価の向上と集客の強化を図りました。カラオケのコート・ダジュールでは、発売以来ご好評の「金のポテト」シリーズから新たに松阪牛味を発売するなど飲食メニューのさらなる充実を図るとともに、忘新年会シーズンに合わせたパーティーコースの販売等により幅広い客層の集客に注力いたしました。24時間営業のセルフ型フィットネスジムのFit24では、初心者でも安心してトレーニングを始められるサポート体制の構築や新規マシンの導入、マナー管理の強化等を行うことで、店舗環境の改善・整備に努めました。店舗面では、快活CLUBで19店舗、コート・ダジュールとFit24でそれぞれ1店舗を新規出店した一方、営業効率改善のため快活CLUBとFit24でそれぞれ5店舗、コート・ダジュールで2店舗を閉鎖した結果、ランシステムの複合カフェ自遊空間他80店舗（内フランチャイズ47店舗）を含め、当第3四半期末の店舗数は775店舗（前期末768店舗）となりました。

これらの諸施策の実施等により既存店が堅調に推移した結果、売上高は578億56百万円（前年同期比0.6%増）、営業利益は63億90百万円（前年同期比12.5%増）と増収増益になりました。

#### (アニヴェルセル・ブライダル事業)

アニヴェルセル・ブライダル事業では、受注活動の強化を継続するとともに、新たなプレミアムラインのウェディングドレス「ダイヤモンドシリーズ」を展開するなど組単価の向上を図りました。また、施設の稼働率向上に向けて企業の展示会やパーティーなど法人宴会需要の取り込みを積極的に推進したほか、アニヴェルセルカフェにおいてクリスマスイベントを開催し、期間限定のコースメニューとデザートを提供することで集客強化に努めました。

これらの諸施策の実施等により基幹店である表参道店及びみなとみらい横浜店を中心に施行組数の増加と組単価が上昇した結果、売上高は89億87百万円（前年同期比7.4%増）、営業利益は5億49百万円（前年同期比68.0%増）と増収増益になりました。

#### (不動産賃貸事業)

不動産賃貸事業では、グループ内店舗の遊休スペースの賃貸を進めた一方、一部の店舗で原価が増加したこと等により、売上高は53億56百万円（前年同期比4.6%増）、営業利益は11億86百万円（前年同期比0.1%減）となりました。

## (2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況

### 資産、負債及び純資産の状況

#### (資産)

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、季節的要因等により前連結会計年度末と比べ185億27百万円減少し、2,144億48百万円となりました。

流動資産は、棚卸資産が仕入高の増加等により23億52百万円増加した一方、現金及び預金が161億62百万円、売掛金が季節的要因等により62億73百万円減少したこと等により、前連結会計年度末と比べ192億95百万円減少いたしました。固定資産は、投資その他の資産の繰延税金資産等のその他が10億28百万円減少した一方、有形固定資産が新規出店等により12億88百万円及び無形固定資産が4億27百万円増加したこと等により、前連結会計年度末と比べ7億67百万円増加いたしました。

#### (負債)

流動負債は、短期借入れを20億円実施した一方、買掛金が季節的要因等により44億75百万円、未払法人税等が法人税等の支払い等により17億43百万円及び賞与引当金が賞与の支払い等により24億38百万円減少したこと等により、前連結会計年度末と比べ53億69百万円減少いたしました。固定負債は、長期借入金が約定返済等により106億70百万円減少したこと等により、前連結会計年度末と比べ99億90百万円減少いたしました。

#### (純資産)

純資産の部は、利益剰余金が親会社株主に帰属する四半期純利益及び配当金の支払いの結果29億79百万円減少したこと等により、前連結会計年度末と比べ31億67百万円減少しております。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結累計期間の業績は、ファッショング事業では残暑や暖冬の影響を一部受けたものの、その他の事業を含め概ね堅調な動きが継続し、通期の進捗に対して概ね予定どおり推移いたしました。

通期の連結業績予想については、原材料価格等の上昇率はやや落ち着きを見せているものの、継続する物価上昇が個人消費に及ぼす影響や第4四半期のファッショング事業におけるフレッシャーズ等の特定マーケットの状況により大きく変動する可能性がありますが、2025年11月7日(金)に公表した連結業績予想数値の修正は行っておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流动資産		
現金及び預金	34,880	18,718
売掛金	14,855	8,582
棚卸資産	22,737	25,090
その他	7,357	8,141
貸倒引当金	△11	△7
流动資産合計	79,819	60,524
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	65,760	66,443
土地	30,397	30,692
その他（純額）	15,952	16,263
有形固定資産合計	112,110	113,399
無形固定資産	6,403	6,831
投資その他の資産		
差入保証金	6,233	6,201
敷金	19,025	19,137
退職給付に係る資産	143	135
その他	9,263	8,235
貸倒引当金	△24	△15
投資その他の資産合計	34,642	33,693
固定資産合計	153,156	153,924
資産合計	232,976	214,448

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
<b>負債の部</b>		
<b>流動負債</b>		
買掛金	18,023	13,547
短期借入金	—	2,000
1年内返済予定の長期借入金	10,305	13,648
未払法人税等	2,190	446
賞与引当金	3,398	960
役員賞与引当金	193	117
その他	16,515	14,535
流動負債合計	50,627	45,257
<b>固定負債</b>		
長期借入金	25,684	15,014
退職給付に係る負債	62	65
資産除去債務	8,818	8,850
その他	5,642	6,286
固定負債合計	40,207	30,217
<b>負債合計</b>	<b>90,835</b>	<b>75,475</b>
<b>純資産の部</b>		
<b>株主資本</b>		
<b>資本金</b>	<b>23,282</b>	<b>23,282</b>
<b>資本剰余金</b>	<b>22,612</b>	<b>22,644</b>
<b>利益剰余金</b>	<b>98,017</b>	<b>95,037</b>
<b>自己株式</b>	<b>△2,960</b>	<b>△2,887</b>
<b>株主資本合計</b>	<b>140,952</b>	<b>138,077</b>
<b>その他の包括利益累計額</b>		
<b>その他有価証券評価差額金</b>	<b>151</b>	<b>17</b>
<b>退職給付に係る調整累計額</b>	<b>737</b>	<b>567</b>
<b>その他の包括利益累計額合計</b>	<b>889</b>	<b>584</b>
<b>非支配株主持分</b>	<b>298</b>	<b>311</b>
<b>純資産合計</b>	<b>142,140</b>	<b>138,973</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>232,976</b>	<b>214,448</b>

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

	(単位：百万円)	
	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
売上高	129,427	131,343
売上原価	77,110	77,125
売上総利益	52,316	54,218
販売費及び一般管理費	44,801	47,112
営業利益	7,514	7,105
営業外収益		
受取利息	56	87
受取配当金	20	15
その他	134	68
営業外収益合計	211	170
営業外費用		
支払利息	207	188
固定資産除却損	141	92
その他	467	235
営業外費用合計	817	516
経常利益	6,909	6,760
特別利益		
固定資産売却益	184	10
投資有価証券売却益	563	167
受取補償金	—	65
収用補償金	165	—
特別利益合計	913	242
特別損失		
固定資産売却損	19	—
減損損失	992	1,144
特別損失合計	1,012	1,144
税金等調整前四半期純利益	6,810	5,858
法人税、住民税及び事業税	852	1,070
法人税等調整額	1,357	1,025
法人税等合計	2,210	2,096
四半期純利益	4,600	3,762
非支配株主に帰属する四半期純利益	6	12
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,593	3,749

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
四半期純利益	4,600	3,762
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△551	△134
退職給付に係る調整額	△64	△170
その他の包括利益合計	△616	△305
四半期包括利益	3,983	3,457
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,977	3,444
非支配株主に係る四半期包括利益	6	12

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

前第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	ファッショ ン事業	エンターテ イメント 事業	アニヴェル セル・ブラン チ事業	不動産賃 貸事業	計				
売上高									
ファッショ ン	61,925	—	—	—	61,925	—	61,925	—	61,925
複合カフェ	—	45,500	—	—	45,500	—	45,500	—	45,500
カラオケ	—	7,723	—	—	7,723	—	7,723	—	7,723
フィットネス	—	3,840	—	—	3,840	—	3,840	—	3,840
ブライダル	—	—	8,360	—	8,360	—	8,360	—	8,360
その他	—	378	—	—	378	47	425	—	425
顧客との契約から 生じる収益	61,925	57,442	8,360	—	127,728	47	127,775	—	127,775
その他の収益	—	63	—	1,587	1,651	—	1,651	—	1,651
外部顧客への売上高 セグメント間の内部 売上高又は振替高	61,925	57,505	8,360	1,587	129,380	47	129,427	—	129,427
0	10	4	3,532	3,547	48	3,596	△3,596	—	—
計	61,926	57,516	8,365	5,119	132,927	95	133,023	△3,596	129,427
セグメント利益 又は損失 (△)	983	5,679	327	1,187	8,178	△7	8,171	△656	7,514

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、広告関連事業等です。

- セグメント利益又は損失の調整額△656百万円には、セグメント間取引消去2,849百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△3,505百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない提出会社の管理部門等の費用です。
- セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「ファッショ  
ン事業」、「エンターテイメント事業」及び「不動産賃貸事業」の各セグメントにおいて、店舗の閉鎖が決定したこと等により回収が見込めなくなった営業店舗について減損損失を認識いたしました。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においてはそれぞれ47百万円、915百万円及び29百万円です。

当第3四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	ファッショ ン事業	エンターテ イメント 事業	アニヴェル セル・プラ イダル事業	不動産賃 貸事業	計				
売上高									
ファッショ ン	62,815	—	—	—	62,815	—	62,815	—	62,815
複合カフエ	—	46,165	—	—	46,165	—	46,165	—	46,165
カラオケ	—	7,197	—	—	7,197	—	7,197	—	7,197
フィットネス	—	4,171	—	—	4,171	—	4,171	—	4,171
プライダル	—	—	8,980	—	8,980	—	8,980	—	8,980
その他	—	250	—	—	250	58	308	—	308
顧客との契約から 生じる収益	62,815	57,784	8,980	—	129,580	58	129,638	—	129,638
その他の収益	—	63	—	1,641	1,704	—	1,704	—	1,704
外部顧客への売上高	62,815	57,848	8,980	1,641	131,285	58	131,343	—	131,343
セグメント間の内部 売上高又は振替高	0	7	7	3,714	3,730	45	3,776	△3,776	—
計	62,815	57,856	8,987	5,356	135,015	103	135,119	△3,776	131,343
セグメント利益 又は損失 (△)	△165	6,390	549	1,186	7,960	8	7,969	△863	7,105

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、広告関連事業等です。

2. セグメント利益又は損失の調整額△863百万円には、セグメント間取引消去2,595百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△3,458百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない提出会社の管理部門等の費用です。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「ファッショ  
ン事業」、「エンターテイメント事業」及び「不動産賃貸事業」の各セグメントにおいて、店舗の閉鎖が決定したこと等により回収が見込めなくなった営業店舗等について減損損失を認識いたしました。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においてはそれぞれ108百万円、1,031百万円及び4百万円です。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第3四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産及び長期前払費用に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりです。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
減価償却費	7,437百万円	7,613百万円
のれんの償却額	61〃	0〃